



義系一可正世卷

北溟

へ遠13
1.461
L





13
1.461
1

祿百廿九

男は祿百廿九の杉紙お場

極高の事いふて賢人那

これに忍者精川子集

好事いふ事いふ事いふ事



は八百ある年を裸百費成償
 ぬ身家人六器の文法
 かの代を惜むる予ふの
 深世を多る子辨高序

裸百費序

大智度論云嘉大夫節典孔子
 者不時合之貫首也冠哉夫人形
 棄而歌舞妓行榮字始而後△高
 嗚呼時哉時哉仲達被圍樓門彈

序

富貴組最早可不中也矣時節之

信又冷乎風呂屋之雪駄尤信之速

急乎五日拂會櫃底留直而摸藝妓

再勤尤為常矣都如大晦日元日之

變日僅是一夜之過音駝天走不可

及也只其應時者粹乎粹也者不成

馬廐而放好不買無駄而寶時謂

之粹兀頂於是乎枕懸不入而梅溢

義理不掛而身揚諺有之曰能良者

可聲矣矣極道者不可成也矣周易

所謂澤山金卦四爻變為一向粹夫

而後身上幽于燈明灯其當斯之時

裸百貫之價嚴然而著為粹川子

能搜此隙而撰裸百貫嗚呼妙哉妙

乙卯之冬

一任庵



養漢裸百貫卷之一 粹川子著

四乃海縣よりハ 藝より入具 是屋の

遺摺の 質を此に 納る 浄代

のそ 目が なる なる 泰平 忠の 時

清風 美氏 豊より 肉を 流し 詩

哥連 從琴 碁書画 小唱 之味 縁

子 寮子 夢の 欠を あり なる なる 乃 夢の 中

養漢裸百貫

和歌集卷之十一



素絢画



和歌集卷之十一

十一

御衣箱



〇

御衣箱



御衣箱

〇

御衣



系
狗
車

御衣

御衣

